

“祝 母校創立110周年盛大に” 新たな令和の時代に継ぐ母校への想い

関東さつなん

第33号



野崎耕二書(30年卒)
発行所 薩南工業高等学校
同窓会関東支部
編集 福留 勲
編 集 機械科
発行日 2020年5月16日
印刷所 株式会社 盈進社
東京都千代田区飯田橋2-3-2
TEL 03(3262)3471

令和元年度 総会・懇親会模様

同窓会関東支部総会・懇親会は、令和元年六月二十一日(土)上野の森鷗外ゆかりの宿「水月ホテル鷗外荘」に於いて開催された。生憎の梅雨空のもとではあったが、会員と来賓を合わせて総勢百余名が集う盛大なものとなった。また、今年には母校創立百十周年にもあたることから、会員相互の融和・意思疎通と、お互いを今日の人生へと導いてくれた母校への誇りが心に強く刻まれるかけがえのない総会となった。

第一部「総会」

司会者の開会あいさつあつたあと、逝去会員に対し黙祷を捧げ、冥福を祈念した。

その後、全員で高らかに校歌を合唱し、母校への想いを届けた。そして、福留支部会長から母校が創立百十周年を迎えることに対する祝いとともに、日ごろの支部活動に対する諸先輩や会員への感謝の意を述べられた。また、同窓会運営の課題や新卒者への対応状況、さらに、同窓会ホームページの開設効果、今後の支部繁栄のためのご協力の呼びかけがあった。

続いて総会議事に入り、各担当から平成三十年度の「会務報告・会計報告・会計監査報告」があり、それぞれ全会一致で承認を得た。

橋口同窓会本部長・大保学校長・有蘭先生より、母校創立百十周年記念事業のプログラムなどが示されるとともに、記念行事への協力依頼があった。さらに、母校の近況報告では「学校教育運営の充実や地域と連携した教育活動にも、物づくりへ

の心と技が共に引き継がれています」との話があった。

第二部「特別講演」

昭和四十九年建築科卒の五名「下シ・カツ・サチ・マサ&サダム」により、「それぞれの人生、薩南と」の演題で講演された。五名は、それぞれの進路(官庁・設計事務所・ゼネコン・個人経営・海外勤務)に進まれたとのこと。卒業後四十五年間の人生を通じた生き様や苦勞・多くのウンチクなどが披露された。全員の発表はユーモアにも溢れ会場の笑いを誘い、予定時間は瞬く間に過ぎた。

第三部「懇親会」

冒頭、司会者より「ご来賓紹介」があり、加治木工業高校関東支部同窓会 柏木支部長からご来賓を代表してご挨拶をいただいた。その後、関東支部桑本野副会長による乾杯のご発声、各科のテーブルで一年ぶりの再会に話の花を咲かせた。続いて関東さつなん同窓会の歌、即興の替え歌などを全員で合唱し各科全員参加による出し物も演じられた。また、今年も着物姿の「関東さつ南の会」と、多くの飛入り参加会員による踊りができて、会場が盛り上がった懇親会の最後には、お楽しみビンゴゲームがあり、収益金は母校の生徒会へ運営費として全額が贈られた。

万歳三唱は田中副会長がユニークな話術で最後を盛り上げ、司会のあいさつで楽しい宴を締めくくり、再会を誓って散会となった。(関東支部常任幹事 新原亨)

高校時代の諸恩師のことばがいつまでも心に残っております。また、社会に出て周囲の方々や薩南で出会ったヨカ仲間の存在が、現在のエネルギーの源となっている。幾多の困難を乗り越え、今は独立して、薩南のヨカ仲間とゴルフや呑ん方を通じて鋭気を養っている。

高校時代にクラス対抗試合の柔道で首を負傷、卒業後進学、その後ゼネコン入社、現場での時間の不規則などすぐに会社を辞めたいと思った。また、六十を過ぎて心の病を患ったが、薩南のヨカ仲間にもまれて「カツ」力が湧き出ており、今ではこの笑顔に戻りました。やはり「テゲテ」が重要と感じました。

卒業後五年間は横浜市役所で都市計画に携わっていた。その後独立したが、すぐに店じまい。未熟さを痛感し、十五年間ありとあらゆる職業を経験した。都市計画の夢が脳裏から離れず、本格的な設計事務所を設立して今日に至っている。現在街づくりに精力的に挑んでいる。

趣味の溪流釣り、囲碁も数年前からはじめた。それとヨカ仲間とゴルフ、呑ん方が一番じゃ。

高校時代は気が弱く、ゼネコンでの勤務は無理と思ひ国家公務員試験を受験、合格して「建設省関東地方建設局」で各省庁の建物の積算に従事。そのとき、一応設計も試みたがセンスの無さを痛感。上司のことは「線は簡単に消しゴムで消せるけど、現場で施工したものは消せない」と言われたのが脳裏にこびりついていて、「カツさん」と同様五十五歳から六十歳まで「心の病」を患ったが職場の移動で快復。

ほんのこてヨカ時代に育つこともした。そして、やっぱり薩南のヨカ仲間と「お」ができてよかった。「きゅ」はあいごとさげもした。

本誌ガイド

- ※「原稿は全て令和二年三月に編集されたものです」
- ※令和元年度の関東支部総会懇親会模様……………1
- ※本部長・学校長・支部会長挨拶「真の生き甲斐をもつために」……………2
- ※母校だより(各科の近況)……………3
- ※支部会員の活動報告……………4
- ※特集・母校創立百十周年記念式典
◎機械科も還暦……………5
- ※関東支部役員名簿 会務報告
令和元年総会・懇親会出席者名簿……………6

年会費納入のお願い

薩南工高同窓会関東支部は、これまで皆様方のご協力のもと「活力ある支部活動」を心がけ運営してまいりました。今日まで休むことなく活動できましたのも、皆様方のご協力の賜と心より感謝申し上げます。

今後とも安定した会の運営には、皆様の年会費納入が必須の条件であり、また、年会費が同窓会活動の唯一の財源です。ぜひ、同窓会活動の趣旨をご理解いただき、同封の振替用紙でご送金をお願い申し上げます。 役員一同

支部年会費は、2,500円です。どうぞ、よろしく願い申し上げます。

同窓会関東支部

「令和2年度総会」中止のお知らせ

同窓会関東支部では、恒例の6月総会開催を予定し、役員一同鋭意その準備を進めて参りました。しかしながら、新型コロナウイルス感染・拡大が全国的に蔓延し出席者への影響が大きいこと、長年お世話になった「水月ホテル鷗外荘」は五月をもって閉館との情報を得ました。

このような状況から大変残念ではありますが、会員皆様方のご健康を案じて、本年度は総会を中止する決断に至りました。

なお、来年度の総会へ向け、役員一同すでにスタートしております。来年は例年以上の賑やかな総会を目指所存です。皆さま、来年お元気な姿でお会いできることを楽しみにしております。



「ごあいさつ」

日ごろより関東支部の皆様方には本部同窓会の運営に対しご協力、ご鞭撻を賜り誠にありがとうございます。

会報「関東さつな」三十三号が本年も会員相互の親睦融和と情報交流の場として長年に渡り継続的に発行されている事は本

当にすばらしいことだと思います。公私ともどもお忙しい中を



母校創立百周年 期待も大きく

母校は、明治四十二年に開校してから昨年十月で創立百周年を迎えました。

十月二十六日、祝賀行事を開催するとの案内がありましたので、久しぶりに帰省も兼ねて参加して参りました。爆音といつても土地だけが残っているのみで、ふるさとを遠くに感じる思いもありましたが、今回祝賀行事に参加することで懐かしい母校の空気に触れることができました。



「ごあいさつ」

薩南工業高等学校校長 大保 智

日ごろから同窓会関東支部会員の皆様には、母校の学校教育活動に對しまして、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。また、皆様からの暖かい物心両面に渡るご支援をいただき学校として改めて御礼申し上げます。

昨年度は、学校創立百周年の記念すべき年となりました。大きな行事として記念体育祭を九月七日、記念式典を十月二十六日、記念文化祭を十一月八日

本部同窓会会長 橋口 良一

織が一丸となり様々な事業をスムーズに行うことができました。記念講演会では平成二十二年に機械科を卒業し、三菱重工業に入社した知覧町出身の山口翔平氏に「ロケット製造現場に携わって」という演題で講演をしていただきました。生徒たちも興味深く真剣に聞き入っており、公演後の質問コーナーでは、生徒の中から「新しいロケットが宇宙に行つたとき、世界がどのように変わりますか」などの質問があり、充実した講演会でした。

また、長年の夢であった水車からくり人形の披露、ねぶたの披露、「自主・向学・和協」の校訓碑の除幕式、夕方からは知覧パラダイスで本部総会・祝賀懇親会が盛大に執り行われ、関東支部長はじめ、多数の参加をいただき、御礼申し上げます。祝賀懇親会では恒例のビンゴ大会で、各支部から持ち寄られた地域の特産品も提供され、皆様にたいへん喜ばれました。

昨年度は創立百周年を記念して体育祭では同窓会長杯を製作し、科対抗の種目を設け、第一回目の今回は建築科が優勝しました。文化祭はファッションショーを初め、食物パズルや展示などに大勢の観客が詰めかけ大変盛り上がりしました。また、名称も創立百周年を機に「知薩祭」となりました。

成二十七年からチャレンジしてきた「水車からくり人形」の製作披露がありました。からくり人形について詳しく聞く時間がなく、インターネットで検索したところ、豊玉姫神社では江戸時代から六月灯で上演されてきた伝統行事であり、昭和五十八年には鹿児島県より有形民俗文化財、昭和五十九年には国より無形民俗文化財に指定されています。

今回、母校で製作している水車からくり人形が豊玉姫神社で上演される日も近いのではと期待しています。

から九日に実施しました。生徒職員、保護者をはじめ、同窓会や地域の関係者の方々とともに準備を進めてきました。それぞれの行事において、当日の実施に向けて多くの皆様のご協力をいただき、無事にそして盛況裏に終了することができました。この一重に同窓会会長、関係各位のお陰であると深く感謝を申し上げます。

披露「自主・向学・和協」の校訓碑の除幕式、夕方からは知覧パラダイスで本部総会・祝賀懇親会が盛大に執り行われ、関東支部長はじめ、多数の参加をいただき、御礼申し上げます。祝賀懇親会では恒例のビンゴ大会で、各支部から持ち寄られた地域の特産品も提供され、皆様にたいへん喜ばれました。

昨年度は創立百周年を記念して体育祭では同窓会長杯を製作し、科対抗の種目を設け、第一回目の今回は建築科が優勝しました。文化祭はファッションショーを初め、食物パズルや展示などに大勢の観客が詰めかけ大変盛り上がりしました。また、名称も創立百周年を機に「知薩祭」となりました。

待っています。式典には、在校生を含め教育関係者が多く参加しており、今回の記念すべき節目の年に在籍していた生徒たちにとつては、たいへん名譽で意味深いものになったと感じております。明治に創立し、大正、昭和、平成を経て令和へと、一世紀を超えるものづくりの精神を受け継ぎ、技術教育の歴史を刻んできた母校の存続をたいへんうれしく思います。

令和はスタートしたばかりですが、人工知能(AI)、自動運転といった技術開発が加速する現在、工業高校として未永く存続することにより、新たな技術

名の皆様にご出席を頂き誠に有難うございました。式典においては、ねぶた祭りをPTA会長や卒業生、PTA役員、市ねぶた祭り実行委員会のご協力のもと披露していただきました。薩南からくり水車を三年度から準備し、式典当日にはお披露目することができました。お披露目式典等に出席された多くの来賓の方々からお褒めの言葉をいただきありがとうございます。また、同窓会長をはじめ同窓会員の皆さまから多くの「ご寄付をいただきました。その中で、正門近くに校訓石碑を建立されました。本校の校訓「自主・向学・和協」と今年度、本

我が母校は現在建築・機械・情報技術・生活科学の四学科があり、定員百六十名ですが、少子化により、この数年定員に満たない状態が続いております。この現状の中で、今年度から南九州市役所が市内三校の学校活性化のために生徒の資格取得の補助金を算定することになっております。本校も生徒募集に際しては独自の教育活動を展開し、生徒の充足率を上げることが重要になります。

「真の生き甲斐をもつために」

名譽顧問 永崎 一則

最近また人気を取り戻してきた大相撲のことで稽古に光を当て、新しいステージに入つてきた同窓会の意味を考えてみたい。「コロナウイルス」の流行のため大阪場所が無観客で開催ということになりそうだが、どうなるか。これまでの場所解説者の北の富士さんや舞の海さんなどから、黒星が続いている力士に対してしきりに、「稽古が足りない」と言われてきた。部屋の内方も「もっと稽古しろ」と発破をかける。これは「強くなるために稽古が最善だ」ということだろう。相撲は勝負の世界だから勝つたと言っているのだが、人間が一生豊かな人生を送るといふ面でも示唆に富んだ貴重なことばだと考えてよい。

相撲では相手の攻勢をうまくかわし危機を脱する。しかけてきた相手の得意技でも瞬時に受けとめ、逆に返し技で勝ちをもぎ取る。あの究極の動きは考へてするのではない。最高に磨きぬかれた体が覚えたものであるという。人間が一生を生きるうえでその根底に絶対欠かせない好悪の対人関係力にも全く同じことがいえる。仕事柄私は、このことをアスリートの厳しい練習の中にもみる。このことは、ある人が何らかの事情で一つの部屋にひきこもり長時間下界と遮断された状態から急に一般社会に出て

筋に学び励みて墨繩の「正しき道」をふみながへそを教育の精神的理念として、永く大切に、生徒の夢実現に向けた活動に日々頑張つてまいります。

部活動においては、野球部が鹿児島NHK旗に五年連続の出場や甲子園大会県予選で第一シード校を相手に奮闘しました。ソフトボール部は、十一月に九州大会に出場しました。さらに機械工作部は、アーク溶接競技において、県大会個人で初優勝福岡での九州大会に出場し、個人3位となり、今後の活躍が期待されるようです。

また、地域の中の学校として、呈茶のPRボランティアなどを始め全学科で地域行事に参加し、市民の方から大変喜ばれました。このように学校で様々な活動を行う中で、生徒は日々成長していると感じております。

豊かに生きるチエを身につける機会を奪われているということだ。これからはますます自ら積極的に多くの人と交流できる場に向かうように心がける必要がある。

そんな意味で同窓会は気楽に方言が飛び交う中で共通の話題、幼い時代のあるさとの風景、多感な青春時代の喜びや暴走など、心おきなく語り合いながら対人関係をスムーズにする微妙なコツを膚で覚える貴重なチャンスになりましょう。「同窓会とは対人関係対応能力をつける最高の稽古場である」という「永崎流思考の一部」をのべ、特に若い同窓生に考えてほしいと思う。

最近、週一だけ出勤、テレワーク、テレビ会議など生産性が声高に語られている。結果として多種多様な人との親近感や対応力研磨の機会を失った社会体制に突入したことを意味している。これは

先輩方に続くよう教職員一同生徒の育成に尽力してまいります。今後とも母校の発展・充実のためのお力添えを賜りますようよろしくお祈り申し上げます。終わりに、皆様方のますますのご健勝とご活躍を祈念いたします。

安全・快適な空間づくりを目指す
総合建設業
株式会社 松下産業
建築・土木施工管理者
建築設備職
中途採用募集中！
担当：ヒューマンリソースセンター 齋藤

人と環境への思いを持って 地元とともに未来を築く。
橋口建設株式会社
Hashiguchi Construction CO., Ltd.
ISO取得(品質・環境・労働安全衛生)
Intertek UKAS
取締役会長 橋口 良一 (S41年 土木科卒)
代表取締役 北 寛郎 (H4年 建築科卒)
〒897-0133 鹿児島県南九州市川辺町下山田989
Tel: 0993-57-2511 Fax: 0993-57-2034
URL: http://hasiken.co.jp/
Mail: hasiken@mocha.ocn.ne.jp

きて不適応をきたし、不幸な結果をもたらせた事件からだれでも知っているはずだ。
ところてい、私たちがふつうと思われる対人関係対応能力を身につけ、危険な状態に陥らず生きてこられたのは、これまでの社会体制が多くの人と接して生きなければならぬ仕事の中で最低の対人関係対応能力を身につけてきたからである。
最近、週一だけ出勤、テレワーク、テレビ会議など生産性が声高に語られている。結果として多種多様な人との親近感や対応力研磨の機会を失った社会体制に突入したことを意味している。これは

地元で育てられて、おかげさまで41周年
牧添土地家屋調査士
・行政書士事務所
土地家屋の登記・調査・測量・境界確認の専門家
土地利用許認可・会社法人設立等の
官公署許可申請の専門家
所長 牧添 豊海 (S40年 土木科卒)
〒267-0061 千葉市緑区土気町370番地6
TEL 043(294)3766
FAX 043(295)3704

SSS 建築土木・設計施工
日鉄エンジニアリング(株)販売施工店
サンエス建設株式会社
一級建築士 田中清美 (S32年 建築科卒)
本社 〒115-0045 東京都北区赤羽1-6-7
Tel 03-3903-7858 Fax 03-3903-7859
支店 〒331-0852 さいたま市大宮区桜木町4-296-1
Tel 048-643-5571 Fax 048-643-5572
http://www.sss1.co.jp

総合建設業
眞生工業株式会社
東京都知事許可(特-30)第114762号
代表取締役 眞畑 徳盛 (S36年 採鉱科卒)
〔薩南工高同窓生5名在籍〕
〒191-0061 東京都日野市大坂上2-10-11
TEL (042) 582-8750
FAX (042) 582-8751

話力総合研究所
所長 永崎 一則 (S19年 建築科卒)
〒336-0025 埼玉県さいたま市南区文蔵3-10-17
TEL 048-861-1010
FAX 048-861-1010

母校だより 建築科 機械科 情報技術科 生活科学科

建築科

同窓会関東支部の皆様には、平素よりご支援をいただき感謝申し上げます。

現在、建設業界は後継者不足の問題に直面しており、建築科への期待も年々大きくなっているところだ。

建築科の特徴として、建築関係への就職・進学希望者が毎年多く、今年度も約七割の生徒が関係方面に進むことになりました。これも、皆様をはじめ、地域



親子ものづくり

情報技術科

同窓会関東支部の皆様には、平素よりご支援をいただき感謝申し上げます。

情報技術科における進路状況からご報告いたします。令和元年度は三年生の在籍数が十一名と大変少ない人数の中ではありましたが、それぞれに進路を決定することができました。特に多かったのが電気工事に関わる企業への就職でした。その他にも製造業・ビル管理業・運送業等多岐にわたっています。進学では大学・専門学校にそれぞれ一名ずつ合格しております。

情報技術科では様々な活動を行っておりますが、今回特にご紹介したいのがねぶたのLED照明制作です。これまでの照明



ものづくりコンテスト(電気工事部門)

や関係業界等で活躍されている先輩方のおかげと感謝しております。これからは将来の建築業界を担っていく人材育成に取り組んでいく所存であります。

さて、生徒たちの活動実績について、今年度も各種資格検定に多くの生徒が挑戦し、二級建築施工管理技術者試験や建築CAD検定、大工技能検定で結果を残しました。

また地域貢献として、近隣の園児や小学生に木工教室を行い、本校生徒が子供たちに木工作品



現場見学

づくりを指導しました。課題研究では、設計班が本年度も全国大会の「建築甲子園」で県代表に選ばれ入賞。県建築士会主催の設計競技でも、三年連続で上位の賞を受賞しました。

さらに、昨年度卒業した中池君(現在専門学校在学)が全国の国公立・私立大学院生までを対象とした設計競技で、卒業後わずか数か月で見事全国二位に輝く快挙を達しました。本校で学んだ生徒たちも、着実に成果を出し活躍しています。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

最後に、会員皆様のご多幸とご健康を心よりお祈り申し上げます。

関東支部の皆様、且ごろよりご支援いただきありがとうございます。

機械科

機械科卒業予定者三十三名の進路は、進学二名(自動車工学、

に於いて、音に反応して点滅する等の工夫をしたことで、ねぶた絵を鮮やかに照らすことに成功しました。これは学校だけでなく企業の方にもご協力をいただきました。地域に貢献しながら技術力も高めていきたいと考えております。もし高校生の技術力向上にご協力いただける方がいらっしゃいましたら、ぜひ後輩のためにご指導いただければと思います。

最後に、同窓会会員の皆様方のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

生活科学科

同窓会の皆様方には、且ごろからお世話になりありがとうございます。

就職先については、昨年に引き続き大手自動車メーカーの製造部門や、鉄鋼業への採用内定

送っております。

茶業研修、就職三十一名は、自動車関連九名、鉄鋼十名、その他の製造十名、設備一名、運輸一名で、関東に五名、県内に六名が就職します。

機械工作部が参加している高校生溶接技術競技会は、県大会で団体戦は力を十分発揮できなかったものの二位、個人では二年生の當房君が一位となり九州大会への出場を決めました。そして十一月の大会で、各県から合計四十四名の参加の中、三位の成績を収めました。



溶接九州大会

二月二十二日にアミュプラザ鹿児島(鹿児島中央駅前広場)で、南日本放送が主催するイベントに、機械科がエネルギー環境と技術教育に関する展示を行いました。展示品は直徑三メートル程の五角形と六角形からなる立体板に、ポスターや作品を並べて発表しました。

次世代を担う高校生らが、この時期に多様な思考と能力を身に付け、新たな時代の課題を解決し発展していくことを期待しております。今後とも、同窓会の皆様には、暖かいご支援とご協力をお願いいたします。



機械科3年生

をいただきました。進学においても県内外の専門学校や短大の様々な分野において活躍し、後輩たちにつなげてくれるのではないかと期待しております。

今年度も他学科同様、資格試験や検定試験に取り組んで参りました。三冠王(家庭科技術検定三種目(食物調理・被服製作・洋服・和服)一級取得)については、過去最高の六名の努力が実り合格することができました。

また、今年度は創立百十周年の記念の文化祭において、スクールアップしたファッションショーや、食物パザールを行うこと



出前授業



ファッションショー

株式会社ピーエス技研

〈低炭素社会を目指す企業〉

〒196-0002 東京都昭島市拜島町 1-8-2

TEL 042-549-1957

FAX 042-549-1958

http://www.psgiken.com

代表取締役会長 阿久根 学 (S45年 電気科卒)

株式会社 イデア設計

取締役会長 下前 和則 (S45年 建築科卒) 携帯090-8809-3820 Mail: shimomae@idea-tokyo.co.jp

東京事務所 〒156-0041 東京都世田谷区大原 2-23-15 大原ビル 5F TEL 03-3327-4711(代表) FAX 03-3327-4758

鹿児島事務所 〒890-0046 鹿児島県鹿児島市西田 1-5-9 第5鶴丸ハイツ 804号 TEL 099-814-8611 FAX 099-814-8688

都市大型ビルから 集合住宅の総合リニューアルまでを手掛ける (ISO9001:2000認証取得済)

建築技術者 随時募集中(採用担当:小出・相京)

株式会社 イワサ&M's

代表取締役 増田 聡明 専務取締役 相星 隆志 (S46年 建築科卒)

〒113-0034 東京都文京区湯島2丁目21番17号 電話 03-3813-7666(代表) ☎ 0120-50-8183

ホームページURL http://www.iwasa-m.com Eメールアドレス iwasa-m@iwasa-m.com

支店 横浜・新潟

関東知覧会

- 二孝子(機S41) 志春宏(一子春子) 子夫(電S41) 千草清欣(隆つ) 和洋(啓光) 保一(慎政) 一弘(則雄) 夫(夫) 東正(千) 尾品(蔵) 瀬永(緒) 赤井(折) 三竹(村) 大永(菊) 安塗(中) 原野(野) 迫木(口) 野方(崎) 関(尻) 田宅(山) 平崎(永) 田木(村) 前野(品) 蔵(瀬) 永(緒) 赤(井) 折(三) 竹(村) 大(永) 菊(安) 塗(中)

今年の第32回 総会開催日 令和2年10月11日(日) アルカディア市ヶ谷 親戚知人の皆さん お誘いください

おじやったもんせ!!

豊富なかごんま料理と 焼酎で待ちよつもんで!! 郷土料理

薩摩の里

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-18-10-2F TEL 03(3363)3258 FAX 03(3350)1483

店主 山下由人 (知覧町中郡出身)

星のふる町:やすらぎの里 関東さつま川辺会

- 会長 川野 博一 副会長 大坪 剛(兼任) 副会長 東 昭雄(兼任) 副会長 吉留 浩一(兼任) 会計監査 野間 善治(建S36) 会計監査 大平 キヨ子 幹事 東 昭雄(建S38) 副幹事 本田 和幸 副幹事 草 陸(建S46)

事務局 〒181-0005 三鷹市中原 3-8-30 ☎ 0422-26-7065 吉留 浩一(建S42)

—— 薩南工高出身役員 —— 古市 仲(治S26) 芝原 正志(土S39) 水溜 廣幸(土S43)

鹿児島直送のさつまあげ、いも焼酎が飲める店

神田駅北口徒歩30秒

さつま

〒101-0047 千代田区内神田 3-21-2

TEL 03-3252-8728

店主 中川 笑子 (旧姓馬場) (S37年 建築科卒)

基板のことならお任せください フェニックスアート株式会社

《業務内容》

プリント配線基板の設計 プリント配線基板の販売 レザーフォト作画 など

代表取締役 蘭田 哲昭 (S45年 電気科卒)

東京都三鷹市井口3丁目6番地16号 アップルかえて通りビル202 TEL:0422-33-5531 FAX:0422-33-5875 support@phenix-art.co.jp

支部会員の活動報告



新たな出発を迎えて 今思う

昭和四十九年 前原 洋一郎
金属工業科卒

私は、オイルショックの翌年に卒業し、運よく関東の大手電機メーカーに就職できました。そして、昨年四十五年間のサラリーマン生活を無事に卒業しました。

振り返ると薩南工高に入ったきっかけは、父が卒業生(昭和十二年建築科卒)だったことと記憶しています。既に父は他界し、正門前の橋の袂で写した古い写真が残っています。この橋は現在でも当時と変わらない姿を留め、帰省するたびに「ふるさとへ帰って来たな」と実感する場所です。

私の高校時代は、通学はバイク、髪も長髪が認められて、新しい友にもめぐり逢い、急に視界が広がり大人への一歩を感じた学生生活でした。

社会人になってからは、理工系の大学卒の先輩たちと仕事を

する中、学業に目覚め、高専卒の知識を得るべく会社の選抜試験を受けて、給料をもらいながら一年間(全日制)勉学に励みました。そこでも新しい友人や諸先生との出会いが転機となつて、家電・OA機器等の製品開発に携わると共に、海外での赴任生活も経験できて幸せな会社生活でありました。



体育祭の溶鉱炉前にて

「二八歳と八一歳の違い」というテーマで一般の人から投稿された文です。あまりにもおもしろくて笑ってしまったのでここに紹介したいと思います。

・道路を暴走するのが一八歳、



雑感

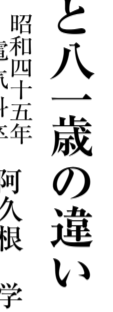
昭和三十三年 中木原 盛夫
普通科卒

創立百十周年誠におめでとう

母校の長い歴史の中で昭和三十四年度まで普通科が存在し、その間校名も「薩南高等学校」の時代がありました。あれから早や六十余年過ぎ当然のことながら世の中大変な進化を遂げ列挙した方がないがその中でひとつ例を挙げると田舎の道路の変わりようです。今こそ狭い農道までも当たり前に綺麗に舗装されていますが、当時は幹線道路まで全て砂利道で雨が降れば即ぬかるみ、又晴天が続くと砂ぼこりの道でした。

自転車通学の私たちは、まだ少ない自動車とすれ違う度に「それ来たぞ」と車が舞い上げる砂ぼこりを避けるため、風上側に寄ったり、一方、無風の日はまともに砂ぼこりをかぶり悲惨な思いをしました。

当時は加田田方面から知覧まで汽車が通っていて汽車通学の生徒も大勢いました。自転車通



一八歳と八一歳の違い

昭和四十五年 阿久根 学
電気科卒

古希が近い年になると若い時分と今の現状の違いが一目瞭然です。

まだまだ人生の残りが多いか少ないかは、その人の生き方で決まるのではないのでしょうか？

・心がもろいのが一八歳、骨がもろいのが八一歳
・恋に溺れるのが一八歳、風呂で溺れるのが八一歳
・まだ何も知らないのが一八歳、もう何も覚えていないのが八一歳
・「アーン」とラブラブなのは一八歳、「アーン」として介護は八一歳
・夢と希望探しが一八歳、医者と病名探しが八一歳
・人の言うことを聞かないのが一八歳、人の言うことが聞こえないのが八一歳
・知識を沢山吸収するのが一八歳、葉を沢山吸収するのが八一歳
・早く二〇歳になりたいのが一八歳、できるなら二〇歳に戻



人生の起点標

昭和四十九年 新原 亨
土木科卒

現在、東北・北海道新幹線の

一部において「はやぶさ」を名乗る列車が運行されているが、以前は、西鹿兒島駅から東京駅までの間に(鹿兒島本線から山陽本線・東海道本線を経由、約一五〇km)、寝台特別急行列車「はやぶさ」が一日一往復運行されていた。

約半世紀前の一九七四年三月薩南工業高校を卒業し、在京のゼネコンへ就職するため「はやぶさ」で上京した。終点の東京駅までの所要時間は二十二時間と大変に長く、ほぼ一昼夜の大イベントであった。出発当日は、親兄弟や友人らとともに西駅一番街で馳走を食べ、みんなに見送られながら十二時半に西鹿兒島駅(現鹿兒島中央駅)を後にした。

当時の時刻表を探すと、博多駅の通過が「日の暮れ方」である。車窓が暗くなったころから翌朝「明け方のころ」まで、同じボックスシートに乗り合わせた乗客4名が、ドミトリーを想像させる上下二段の硬い寝台に疲れた体を横たえ、背中に列車の振動を感じつつ時が過ぎるのを無言で待った。翌朝「カーテンの隙間から朝日が差し込むころ」ようやく名古屋駅を通過、東京駅には定刻の一〇時半、何はともあれ無事に到着した。

あと東京駅到着ホームに迎えに来てくれていたのは親戚になくなったのが八一歳

・お手入れせずに虫歯だらけは一八歳、入れ歯だから虫歯ゼロは一八歳
・偏差値が気になるのが一八歳、血糖値が気になるのが八一歳
・これから人生のスタートを模索するのが一八歳、これまでに人生を苦業の思い出として終活を模索するのが八一歳
・以上ですが、思い当たることもあると思いますが、老化を受け入れながら健康に留意して長生きをしたいものです。

列車の中で何を考えていたか全く思い出せないが、いずれにしても、新しい生活への期待よりも不安でいっぱいだったように思う。酒に酔った親父の説明が悪かったのか、あるいは、酒に酔って電話を受けた親戚が聞き違えたのか、帰省するたびに聞いた話めだが二人とも罰罪そうに笑うだけで、自分の非は認めなかった。すでに二人とも他界しており、今さら確かめようもない約半世紀前の「懐かしい思い出」である。

聖火リレーと同窓会



昭和四十九年 東垂水 隆彦
機械科卒

あれから四十八年、今年、国体が鹿兒島県に帰ってきました。奇しくもオリンピックイヤーの年です。当時私は高校二年生、幸運にも聖火リレー(国体の場合は炬火リレー)と言うのが、聖火を持ってふるさとを走ることができました。

学校を卒業後、北九州に就職し東京に移るまでは、同窓会の集まりが各地域にあることすら知らずにいました。が、関東支部から、出欠のハガキが自宅に届き、時代も平成に変わったときだったので同窓会とはどんなものだろうかと思いましたが、初まりです。焼酎を飲み始めると、鹿兒島弁で喋って田舎に帰ったような雰囲気です。打ち解けることができました。会社が神田に有り、事務局(当時は飯田橋)に近いとの理由で機械科分科幹事となり継続しています。

同窓会では、関東に居ながらふるさとを近くに感じ、広く知

関東さつなん
電気科・情報技術科役員一同

副会長	桑木野 智	第1回S41年卒
副会長	山崎 幸雄	第1回S41年卒
副会長	阿久根 学	第5回S45年卒
幹事	柳 絹子	第7回S47年卒
幹事	蘭田 哲昭	第5回S45年卒

笑顔あふれる…我が科のテーブルで年にいっと位は大いに楽しみませんか。

関東さつなん
普通科有志

東 治男	(S32)
松山 達郎	(S32)
中木原 盛夫	(S33)
下野 敏孝	(S33)

山口陽子さんは2019年10月に
ご逝去されました
謹んでお悔み申し上げます
普通科一同

「生きる」と言うことは、誰かに借りを作ること。生きていくことは、その借りを返していくこと。誰かに借りたら、誰かに返そう。誰かに返さずして借りたように、誰かに返さずしてあげよう! (作詞 永 六輔)

この素晴らしい出会いを多くの会員にも伝えたいの思いで、同窓会活動の手伝いを三十数年間継続していますが、同窓会参加メンバーは三十年前とあまり変わらず、さらに、高齢化が進んでいます。

便利なネット社会になり、誰でも何時でもつながる時代ではあるが、青春時代の三年間の思い出は人生の中で大きな一ページであり、いつまでも同窓会がその想いを語りあい得る場であればと思います。

知覧峠リレーメンバー (S48年当時)

母校創立110周年 記念式典&祝賀懇親会



金峰権現太鼓披露



記念祝賀懇親会



80周年記念碑
「薩南健児」



40周年記念碑
「宮原直三翁」



110周年記念碑
「校訓」



90周年記念碑
「記念モニュメント」



100周年記念碑
「校是」



記念式典会場
「母校正門」



体育館での式典



記念講演「山口翔平氏」 製造現場に携わって



知覧ねぶた祭囃子



記念式典に出席して感じたこと
昭和四十一年 山崎幸雄
電気科卒

私は、九十、百、百周年と三度も記念式典に参加することができました。関東支部からは、九十、百周年のときは約二十人のツウを組んで式典に参加したものです。そのときはマイクロバスを貸し切り千真平、薩摩酒造、坊津町、野間岬、サンセットブリッジ、金峰山登山口などを観光しました。また、先生方が明日の準備に忙しい中を数名、前後祭に参加していただいたことも懐かしい思い出となりました。今回、関東支部からは七名が参加し、式典当日母校に直接集

合することにしました。校舎の下を流れる川の水を利用した「からくり水車」のからくりは素晴らしいです。記念公演は平成二十二年機械科卒の山口翔平さんが「ロケット製造現場に携わって」という話をされました。山口さんは、小さい時から宇宙が大好きで夢は宇宙飛行士、毛利さんに憧れて、ロケットの仕事ができる会社に就職ができた。このことで薩南工高へ入学し、無事に夢をかなえて現在は宇宙ロケットの仕事に携わっている」との講演でした。後輩たちも身近な先輩に憧れて講演後の質問には多数の手が上がりました。後輩らの活発な質疑応答に頼もしさを感じました。

講演の後、力強い太鼓の演奏の中で「ねぶた」が会場を一周したのには感動しました。山車のデザインも素晴らしいです。午後から、慰霊祭、校訓碑の除幕式にも出席しました。祝賀会では、地元「金峰権現太鼓」の強烈な演奏音には驚きました。宴会場の会場全体が感動で揺れているようでした。伝統の強さと感謝を感じた一日となり、また、十年後の百二十周年記念に参加できたらと思っています。



校長&生徒代表と関東支部会員



水車からくり披露

出身は知覧町の北部、茶畑が広がる「後岳」。一九六四年、機械科六回生として入学できた。風格ある木造校舎での授業、新校舎完成後真新しい教室での勉強と部活に励んだ。主任の安田善内先生から教科書片手によく言われた。機械科はカンクッタ



薩南の機械科はカンクッタッド
昭和四十二年 丸野晴久
機械科卒

三 夢と希望に燃え立ちて通り詰めたる幾千里喜び悲しみ秘めたるみとせ (三年) 思い出の母校 わが薩南 作詞 前田明雄 先生 作曲 鹿島昭三 先生 二番はどうしても思い出せない。楽譜は探せど出てこない。記憶によるもので、間違い有りましたら先生方ごめんなさい。また、歌を「存し」の方、同窓会(機械科)まで連絡ください。

祝 機械科も還暦 (昭和34年設置)

正直不動産

平成七年 折尾 崇
機械科卒



地元 鹿児島 鹿兒島を十八歳で出てから、自分の可能性と役割を探してきました。私は、今までの職業を経験したうえで様々な人と出会い、お世話になってきました。これからは、ご縁をいただいた方々や社会に恩返しをしようと思いきり起業を決心しました。そして、最終的に巡り会えた職業として不動産業を選択しました。

一日中立ち仕事で、足は棒のようになつた。親切に指導してくれた熟練工の先輩から貴重な教えを頂き「現場を知らずして良い設計はできない」その通りであった。二年目は、職場移動で相手は重たい鋳物作業、生産に追われ冷房の効かない夏は全身汗まみれ、肌着も黄色に染まっていた。入社して三年目の春、設計部門へ移動と同時に、念願だった大学夜間部に入学できた。二つの夢が同時に叶い同期の女性陣も喜んでくれた。仕事、夜の生活、喜びもあり苦しみもあった。母校、諸先生方のお教えのおかげでなんとかが今がある。「母校の薩南工、誠にありがとうございました」

今、年金生活の中で、日課の「鉄棒蹴上り」「逆立ち」がでさなくなつたら年寄りの仲間入り、夜は少しの「だいやめ」とギターで青春時代のフォークの弾き語り。ところで最近思う。今後益々進歩した世になるだろうがそれだけに特に若い人は、今以上に何事にも疑問を持ち、自分の頭で考える必要があるだろうと。最後に卒業遠足のバス旅行で先生から教わった歌を記す。

一 さ霧に煙る山並みや苦しくベダル踏む我をやさしく 励まし微笑みかける麗しきその名 母が岳 二... 眠たい授業 苦しい実習... 三 夢と希望に燃え立ちて通り詰めたる幾千里喜び悲しみ秘めたるみとせ (三年) 思い出の母校 わが薩南 作詞 前田明雄 先生 作曲 鹿島昭三 先生

就職、一年目

平成三十一年 東 直輝
機械科卒



神奈川県に上京し、早一年が経とうとしています。上京後すぐにホームシックになり、親や友人の大切さを改めて実感しました。鹿児島と違う環境にも戸惑いました。今にもはち切れそうな満員電車、三百六十度見渡す限り山々ではなく、ビルやマンションばかりです。ごい所に来たなど実感しました。

入社直後はわからないことばかりで学校で学んだこともあまり活かせず、失敗の連続で何度鹿児島に帰ろうかと思つたことか(笑)。しかし、今では同期の仲間や先輩方のお陰で仕事が楽しくです。私は、横浜市磯子区で造船業の仕事をしていますが、先輩方と困難を乗り越えながら、自分が関わった船が進水していく瞬間はなんとも言えないくらいうれしいです。三月には海上自衛隊の護衛艦が引き渡されます。今ではこの仕事に就き、良かったと思つています。これからも頑張りたいと思います。

関東さつなん 機械科卒有志

- 黒瀬 勝弘 (S37)
- 蔵前 充廣 (S37)
- 羽山 勝男 (S37)
- 宮原 秀朗 (S38)
- 岩井 宗志 (S40)
- 東 正則 (S41)
- 尾曲 正孝 (S41)
- 丸野 晴久 (S42)
- 田中 逸穂 (S48)
- 東垂水 隆彦 (S49)

お元気ですか..... 同窓会で飲みましょう。

電気科45年卒一同

阿久根 学・蘭田 哲昭
上原 亨・田中 春夫
山口 教之・松山 義弘
取違 道夫・塗木 孝治

株式会社 クリエス

代表取締役 下前 和則 (S45年 建築科卒)

E-mail: k_shimomae@h-creas.co.jp
携帯: 090-8809-3820

〒192-0045
東京都八王子市大和田町5丁目17-33
内藤第2ビル301号室
TEL 042-649-1067 FAX 042-649-1068

代表取締役 折尾 崇 (H7年 機械科卒)

「出会えてよかった」といわれる会社でありたい。

お客様へ新しい価値を創造し地域社会に貢献します。お気軽にご相談ください。全力でご支援させていただきます。

豊かな住生活と夢をお客様へ
株式会社 Orio

不動産、賃貸、売買、コンサルティング
借地、相続、買取、リフォーム

東京都千代田区1-9-606号
TEL.03-6805-4300 FAX.03-6805-2370
all@ml.orio-realestate.com
〒154-0024 世田谷区三軒茶屋2-20-11-1F

歴史をつなぎ 街なかをつなぎ 人をつなぎ

国登録有形文化財 「武蔵屋」まちかど博物館
館長 岩井宗志 (S40年 機械科卒)

〒270-1326 千葉県印西市木下1648-3
TEL: 0476-42-6127
e-mail: munesi@zpost.plala.or.jp

祝 関東さつなん 33号 土木科卒有志

桃蘭和好 (S35年卒) 福留 勲 (S44年卒)
新原 亨 (S49年卒) 西野洋一 (S55年卒)
市坪勝則 (S58年卒)

祝 関東さつなん 建築科役員有志

野間善治 (S36年卒) 吉留浩一 (S42年卒)
草原睦雄 (S46年卒) 小蘭照美 (S50年卒)
篠原孝志 (S52年卒) 柿迫浩人 (S60年卒)

令和元年度(平成三十一年)会務報告

四月六日

・会報関東さつなん会報誌第三十二号印刷前最終チェック(株)進社)十一名出席

四月二十七日

・役員会(①支部総会案内と関東さつなん会報誌第三十二号発送②支部総会役割分担について)十八名出席(株)ピーエス技研・関東支部事務局)

六月八日(令和元年)

・川辺高等学校東京同窓会総会(新宿ワシントンホテル)一名出席

六月八日

・役員会(支部総会役割分担について最終確認(①会場レイアウト関連②備品等の確認))十七名出席(株)ピーエス技研・関東支部事務局)

六月二十二日

・関東支部総会(上野 水月ホテル外荘) 各科の出席者内訳(建築二十四名(土木都市十二名(採治地・金四名)(機械十三名)(電気・情報十一名)(普・家・生五名)(母校三名)(友好団体十七名) 合計八十九名。総会内容は、本会報誌の総会模様となります。

八月十七日

・南さつま市関東ふるさと会(ワシントンホテル)一名出席

九月十四日

・加治木工業高等学校同窓会令和元年度関東支部総会(霞が関ビル三十五階)一名出席

九月二十一日

・役員会(支部運営方針検討事項及び役員会開催スケジュールに

鹿児島県立薩南工業高等学校同窓会関東支部役員名簿

令和2年4月1日現在

Table with columns: 役職名, 氏名, 専科, 卒年, 自宅住所, 出身地. Lists various officers and their details.

Table with columns: 名誉顧問, 氏名, 専科, 卒年, 自宅住所, 出身地. Lists honorary members and their details.

編集後記

燦々と輝く三十三号は、機械科が編集担当となりました。令和の始まり、母校百周年記念の始まり、二〇二〇東京オリ...



(機械科編集員)

令和元年度 関東支部総会・懇親会 出席者名簿

Table listing attendees for the 24th Building Department and 12th Civil/Urban Engineering Department.

Table listing attendees for 5 General, 4 Mining/Smelting/Geology/Metal Engineering, 13 Mechanical, and 11 Electrical/Information Technology departments.

Advertisement for '知的創造' (Intellectual Creation) by Eishinsha, featuring a bottle of Satsuma White Wave sake and promotional text.

Advertisement for Satsuma White Wave sake, showing a bottle and the brand name in large stylized characters.

